

令和3年度 第2回学校評議員会（兼）学校関係者評価会議 提言書

1 保護者アンケートの結果について

○評議員A

〈中学校〉

- ・問3、5
　クラスや全体の雰囲気を肯定的に捉えている（増加傾向）
- ・問6、7
　授業を「分かりやすい」と評価しつつも、「もっと高いレベル」と望む声が3割ほどいる。
- ・問11
　「いじめ」について、保護者と生徒の認識に違いがある。保護者意見は子どもからの情報なのか、外部からの伝聞なのか等の分析判断が必要かも
- ・問24、25、26
　ものづくり教育の充実度は高く評価されているが、国際教育との差が大きい。理数教育については不明が3割ほどいる。

〈高校〉

- ・問3、4
　中学校と同様にクラスや全体の雰囲気を肯定的に捉えている。
- ・問5
　高校において、授業・学習活動が4割から5割肯定されることに自信を深めたい。
- ・問7
　一方で授業について「高いレベル」への要望がある。通常の授業の中での個別指導を一層意識的に
- ・問15、16
　あいさつや服装についての評価が高く、安定している。

○評議員B

・問12について

携帯電話のフィルタリングの実施について、中学校で28%、高校で49%である。携帯に関するSNS等の事件やトラブルのニュースを見聞する度にその必要性を痛感している。低学年ほどそのリスクが高いことを考えるとこの実施率でよいか不安を覚える。保護者への対応として、リスクに関する具体的な情報提供をさらに指導してはどうか。

・問23について

PTA活動が活発かどうかについて、そう思う人が中学校では44%、高校で55%であり、わからないと回答している保護者が30%、27%である。活発に活動されていることが感じられる。また、およそ1/3の保護者は回答しかねているようである。専門部を設けて中高一緒に活発に活動することを通して、学校全体に役立っていることの充実感や達成感を感じたり、新たな発見や興味関心を得たり、学年や地域を超えて絆をつくり深め合うことができる場であると考える。その貴重な体験を広報を通じてさらに周知してはどうか。特に役員として活動したことで得られた様々な収穫を広くしていただくことが重要と考える。

○評議員C

- ・清陵学院の教育目標に対して肯定的な回答の割合が低かった項目は、子どものテスト結果などの学習能力に対して満足できないことを保護者が判断した結果であり、肯定的な回答の割合が高かった項目は、子どもが社会のルールを自覚し成長している過程を保護者が判断した結果であると思われます。

学年通信においては時々の教育目標に係る内容も記載されており、保護者への周知がなされているものと思われますが、重点的教育に対しての「わからない」回答が多いように思われますので、何がわからないのか一言記入する方法でのアンケートの必要性を感じます。

○評議員D

- ・先生方に対する評価がよいと思われます。学校の努力が報われているということではないでしょうか。
- ・少数ではあると思いますが、まだ指導を学校任せにしている父兄が見受けられる気がします。

○評議員E

- ・問6は中学も③だと思います。全問②のどちらかというとそう思うが多いことが笑いが出来ます。当店じいじ亭に来られる生徒さん達は少数ですがとても好ましい子ども達が多いといつも思っておりまます。

○PTA代表

- ・学校での授業、毎日の自主学習を念頭に、部活動や友だちとの交流を楽しむ子ども達の様子が思い浮かばれます。これも本校の教育方針を元に、先生方のこまやかな思いやりが、安定した学校生活に導いてくださるお陰です。これを追い風に、私たち保護者も子どもの今を未来をしっかりと見据えた応援を心したいと思います。

○PTA代表

- ・コロナの影響で様々な活動が、中止や縮小を余儀なくされたことでのアンケート結果と思われる。また学校内での教育を保護者への周知をより一層強めていく必要を感じた。

2 教職員自己評価の結果について

○評議員A

- ・保護者の授業への要望（「さらに高いレベル」）の視点にたち、②探究心⑥授業の創造⑦達成目標⑩教材研究における取り組みを充実させ、保護者の「ナットク感」を醸成願います。

○評議員B

- ・このアンケートで「良い」「やや良い」「やや悪い」「改善を要する」の段階と評価全体の平均の関係が明示されていないので詳細は不明である。しかし、平均点という指標でみると相対的な状況が見えてくると思われる。
平均点の数値について、勝手ではあるが3.3を一つのラインとしてみた。これから教職員の意識、認識を窺い知ることができると思われる。

【重点目標】に基づいた各項目で見てみると

- (1) 主体性、探究力の育成では、①が3.30である。先生方が「めあて」「課題」を明示して生徒に目標への意欲をもたせて授業展開している姿が浮かび上がってくる。
- (2) 人間力の育成では⑤が3.31、⑦が3.33、⑯が3.51である。部活動での

熱心なご指導、また生徒と先生が男女区別なく思いやりをもった人間関係づくりの姿が見えてくる。

(3) 高い志の育成では、③が3.23、④が3.23である。進路指導においても力を入れて指導している姿が見える。

(4) 教職員間の連携、保護者・地域との連携では、②が3.36、⑤が3.30⑦が3.32、⑨が3.30である。特に、出張等で授業ができないときに、授業交換等で生徒が不利益とならないよう授業時間を確保している。学校の取り組みやクラスの様子を通信等で保護者へ伝えて理解・協力を得ている。不登校や問題行動の見られる生徒へ組織として強力に取り組んでいる。という先生方の姿が見える。

以上のアンケート結果から推測される特に際立った面であるが、これ以外にも日常的に先生方が生徒のより良い成長のために時間を惜しまずにご尽力されていることに敬意を表したいと思う。

○評議員C

- ・分析と来年度の課題のとおりとおもわれますので、特に提言はありません。

○評議員D

- ・学校のトップがかわるたびに方針に変化があると思うが、各先生方はそれを理解し行動できていると思われます。、
- ・コロナ禍でありながら通常以上の行動が求められるにもかかわらず、適応していると思います。

○評議員E

- ・アンケートの読み込み時間をとること叶わず誠に申し訳ありませんでした。いいかげんな評価論評すること出来ず失礼いたします。

○PTA代表

- ・生徒の探究力を引き出しながら、学力向上における揺るぎない軸を感じました。それは早期に生徒が自ら進路を見通し、心身育成の努力の必要性に気づくことに繋がっていると思われます。更に部活動や学校行事等で中高連携できることも貴重な体験です。中高一貫教育校の長所が発揮された誇らしい本校です。地域の御協力や先生方の御努力に感謝しつつ、保護者として何をすべきか、深く考えさせられました。

○PTA代表

- ・中高一貫校の特性を十二分に発揮されてないと強く感じる。教職員間での情報共有(中高の先生達同志)を綿密に計ることも、これからの中高連携の果たす役割だと思う。

3 その他

○評議員A

- ・一般入試の倍率が公表されましたが、県内高校の大半が定員割れの状況です。定員の適正化は地域全体の中で計画実施されていくとして本校では、ここしばらくは、多様な生徒を相手に、医療界と同様「生徒カルテ」を基にするがごとく、これまで以上に各個人ごとの変容を根底に据えていくことが、結果として生徒数確保への近道と考えます。
- ・小学生や保護者との出会い（説明会）は極めて重要な機会です。その際、ぜひ本校らしいアイディアに満ちた「演出」を期待しています。
- ・前回の評議員会でも感想を述べましたが、小学校への訪問の際、O Bが同行し、彼らに語ってもらしたことなどすばらしい、本校にしかできない取り組みです。

- ・O Bとして、ものづくりの最先端で働くトヨタの社員や県・市職員、教師、医師や弁護士（未だなっていない？）にも是非、登場願いたいものです。

○評議員B

- ・進路内定状況からは、進学と就職の両面で、生徒たちがこれまでの学習の成果を進路実現にしっかりと活かしていること。
- ・部活動記録からは、中学校、高校共に日頃の練習成果を形にし、全県、全国大会へ進みよく活躍していること。
- ・「さわやかアンケート」からは、いじめ問題に学校として組織的に取り組み、早期発見、初期対応をしっかりとし、解消または低減によく取り組まれていること。
- ・以上のように、先生方が熱心に取り組まれていることに敬意を表したい。また、秋田県の人口減少は未だ底が見えず、全県の生徒減が続いている。こうした現状の中で中高共に定員割れが続いており気になるところではあるが、入学したいという生徒がいる限り、それぞれの生徒の志を大切に育てると共に主体性・探究力・人間力を育成し、教育目標の具現化を図ることが、より重要なことと再認識させていただきました。

○評議員C

- ・コロナ過での教育指導にご尽力いただき誠にありがとうございます。さらには個人的なお願いで、当該評議員会の2月日程を変更していただきましてありがとうございました。

○評議員E

- ・活動記録の子ども達の名前にふりがなをふって戴いてありがとうございました。これでもかと思えるパワフルなルビにゲームでもやるごとく楽しんでしまいました。数で評価するつもりは全くありませんが、円海さんすごいですね12ヶ枠真さん7ヶ思わず數えてしまいました。温翔、秀、仁夢、泰樹、迪啓、読めなかった（8pだけ抜粋）やっとわかりました。スポーツに限らずメカトロ、ロボット美術、英語弁論、清陵のスゴサがあらためて強く伝わってきました。先生達の指導努力にも頭が下がる思いです。
これからも頑張り続けることをお祈り申し上げます。

○P T A代表

- ・「いじめ」については、各人より受け取り方に相違があると思います。一人でも「いじめ」と感じる人がいるならば、それに関わる人も含め直接にあるいは書面などで相談できる方法があればあります。

○P T A代表

- ・清陵学院の特徴をもっと前面に出していくことが大事。6年間、中高一貫、国際教育など他にはない体験を学校内外に情報発信することを望む。自由な校風も作って、入学希望者を増やしましょう